

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	応用演技Ⅰ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名	声優コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	アニメ、外国映画、ナレーション原稿				
担当教員情報					
担当教員	小形満	実務経験の有無・職種	有・声優		
学習目的					
実際に使用する機材の使い方とマイクワーク、テキスト(台本)で使われる用語、台本の読み方(芝居の組み立て方)、アテレコにおけるマイク前での発声、距離感を覚える。					
到達目標					
作品における自分の役どころを理解し、豊かな表現ができる事を目標としている。					
教育方法等					
授業概要	先ずアテレコに興味を持たせる。その上で自分で表現したものを録音して聞かせることによってそれぞれの意図と結果のギャップを埋めていき豊かで十分な表現が出来るように進めていく。				
注意点	自分の事だけに目を向けるのではなく問題点、課題は仲間と常にチェックしあえるようなクラスの雰囲気作りが大事である。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	発表	100%	アフレコの演技力、表現力を見る		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	アテレコに興味を持つ（1）	挨拶、スタジオ内でのマナー、マイク、レシーバー等機材の使い方を覚える			
2回	アテレコに興味を持つ（2）	マイクの前に立って台詞を言ってみる			
3回	アテレコに興味を持つ（3）	画面を見ながら演技することを体験し、その面白さを知る			
4回	アテレコに興味を持つ（4）	自分がアテレコしたものを聞いてみる			
5回	アテレコに興味を持つ（5）	どうすれば魅力的なアテレコになるのか考えてみる			
6回	芝居の流れを理解する（1）	台詞で使われる用語を覚える			
7回	芝居の流れを理解する（2）	リハーサルの仕方を覚える			
8回	芝居の流れを理解する（3）	アテレコのテンションを考える			
9回	芝居の流れを理解する（4）	台本を読んで芝居の流れを理解する			
10回	芝居の流れを理解する（5）	お互いの表現がどうだったのか考える			
11回	マイク前で台詞が言える（1）	マイクの前で十分な声が出せるようになる			
12回	マイク前で台詞が言える（2）	マイクの前で集中して演技出来るようになる			
13回	マイク前で台詞が言える（3）	共演者とのマイクワークを考える			
14回	マイク前で台詞が言える（4）	発音、アクセント、鼻濁音、訛り等チェックする			
15回	マイク前で台詞が言える（5）	録音した自分の台詞を聞きそれらを客観的に分析してみる			